

**Pioneer** *sound.vision.soul*

ファニチャーラック

**OT-R403**

### お客様登録のご案内

<http://www3.pioneer.co.jp/members/>

お買い上げいただきました製品についての「お客様登録」をお願いいたします。  
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。

また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。

ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

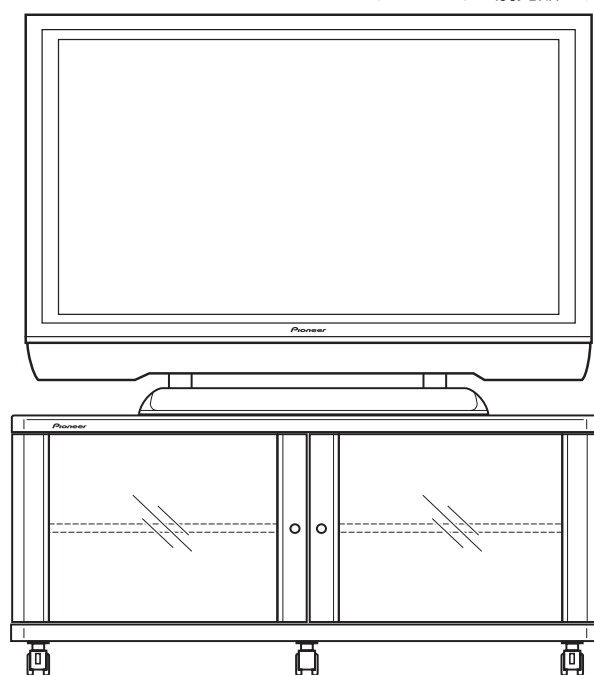
**取扱説明書**

※ディスプレイは別売品です

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。

- お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本製品の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品はパイオニアのプラズマディスプレイを設置すると同時に、AVアンプやDVDプレーヤー等をコンパクトに設置するための高級家具調ラックです。



## 安全上のご注意

### 安全に正しくお使いいただくために

#### 図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠️ 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

#### 図記号の意味

**⚠️** 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

**🚫** 記号は、やってはいけない（禁止）内容です。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

### ⚠️ 注意

#### 設置

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

本機の上にものを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。持ち運びは重いので二人以上で行ってください。



禁止

直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



禁止

#### 使用方法

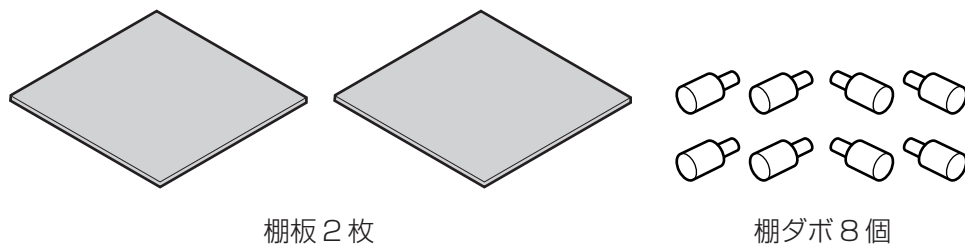
本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



禁止

## 付属品の確認

付属品を確認してください。

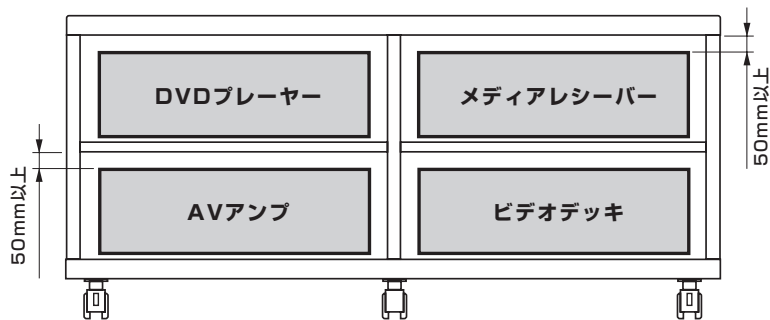


## ファニチャーラック (OT-R403) の設置

ファニチャーラック (本機)、プラズマディスプレイ、メディアレシーバー等の設置は次の手順で行ってください。

### メディアレシーバー、AV アンプ、DVD プレーヤー、ビデオデッキ等の並べかた

メディアレシーバー、AV アンプ、DVD プレーヤー、ビデオデッキ等の配置は下図を参考にしてください。  
(機器の配置は左右逆でもかまいません)



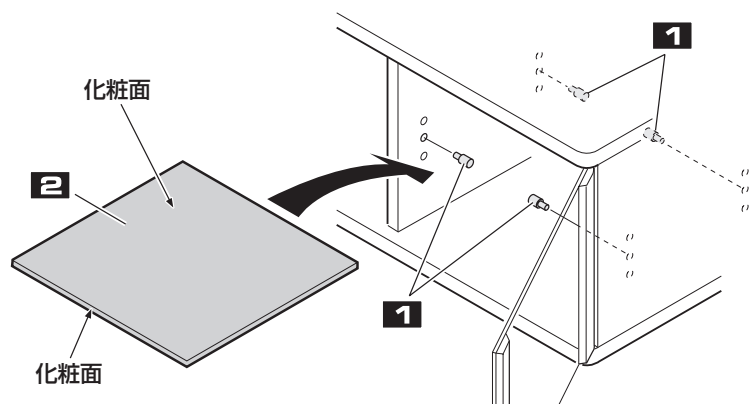
#### 注意

- 各機器は左右の放熱孔をふさぐことのないように、間口の中央に設置してください。またメディアレシーバーやAVアンプなど発熱量の多い機器の上部は50mm以上開けて設置してください。
- お手持ちの機器の奥行きが400mm以上ある場合は、裏板の下側を外し下段に入れてください。(手順6参照)
- ビデオデッキによっては、ラックの上段に入れるとビデオ再生時にプラズマディスプレイの画面にノイズが入る場合があります。その場合は、ビデオデッキを下段に入れてください。

各機器の接続方法については、それぞれの取扱説明書と設置説明書を参照してください。

## 1 棚板を取り付ける

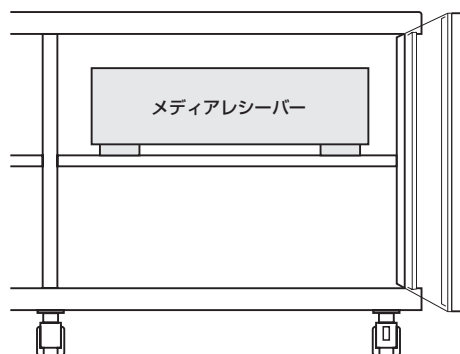
各機器の配置に合わせ、必要に応じて棚板を取り付けます。(棚板の位置は上下3段階に変えられます)



1. 棚ダボを4箇所取り付ける。
2. 棚板をダボに合わせてのせる。

左側のスペースも同様にして、任意の位置に取り付けます。

## 2 メディアレシーバーをラックに入れる

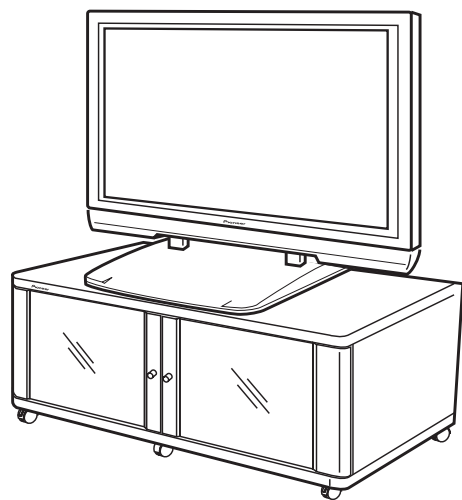


メディアレシーバーをラックに入れます。

## 3 他の機器 (AVアンプ、DVDプレーヤー、ビデオデッキ等) をラックに入れる

前ページの「メディアレシーバー、AVアンプ、DVDプレーヤー、ビデオデッキ等の並べかた」を参照してください。

## 4 プラズマディスプレイをラックにのせる



天板の中央部にプラズマディスプレイをのせます。その際、プラズマディスプレイの台座が天板からはみ出さないようにのせてください。

### 注意

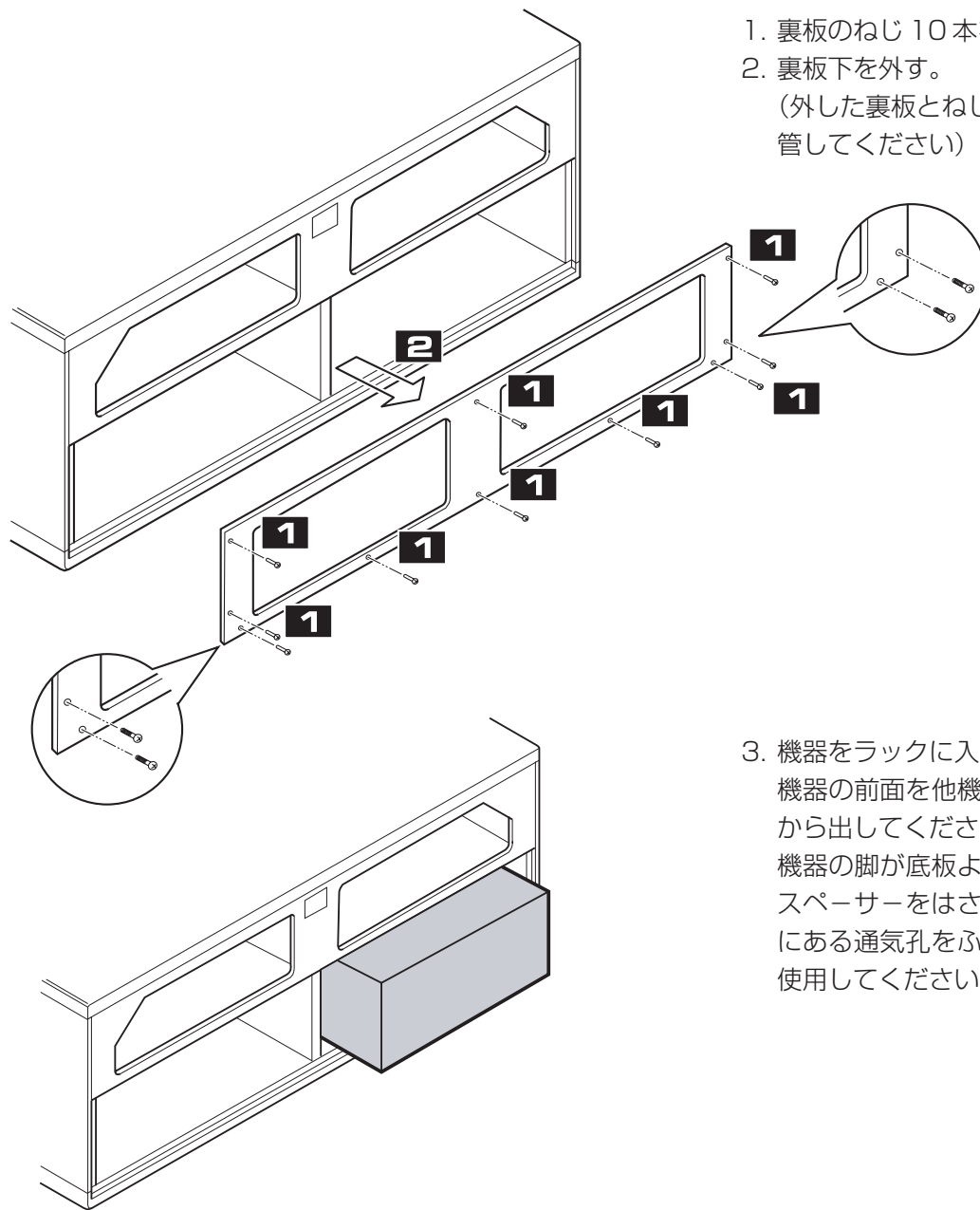
- プラズマディスプレイは重いので、設置するときは必ず2人以上で行ってください。
- 台座が天板からはみ出していると、製品が落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となります。

## 5 各機器の接続

各機器を接続します。それぞれの機器の取扱説明書や設置説明書を参照してください。

## 6 奥行きが400mm以上ある機器を設置するとき

奥行きが400mm以上ある機器は、下側の裏板を外すことにより、下段に最大2台まで収納できます。



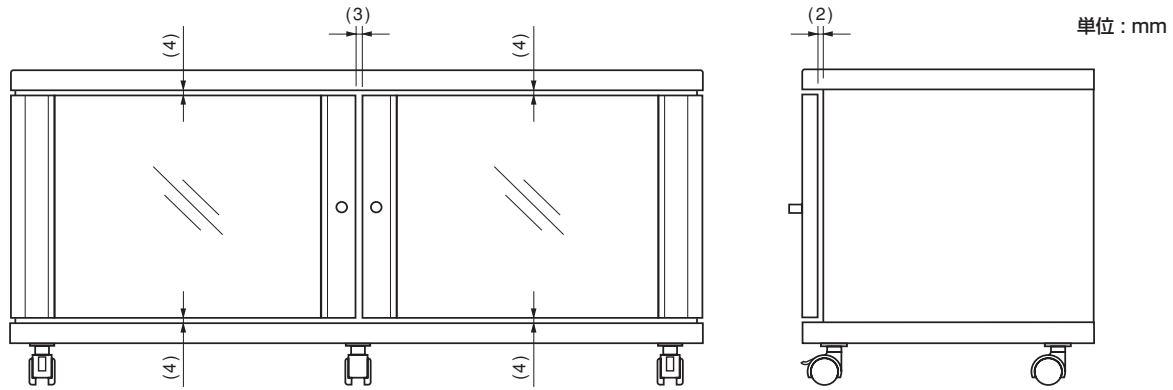
1. 裏板のねじ 10 本を外す。
2. 裏板下を外す。  
(外した裏板とねじは、なくさないように保管してください)

3. 機器をラックに入れる。  
機器の前面を他機器と揃え、後部をラックから出してください。  
機器の脚が底板より脱落する場合は適当なスペーサーをはさむなどして、機器の下部にある通気孔をふさがないようにしてから使用してください。

## 7 ガラス扉の位置を調整する

本機に使用している丁番は、上下、前後、左右、の各方向にガラス扉の位置調整が可能です。設置場所によっては、まれに調整が必要になる場合があります。その場合は、下図を参照して調整をしてください。

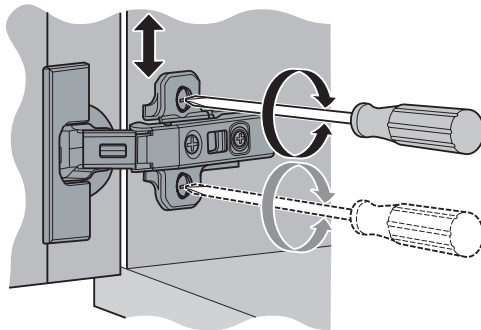
### ガラス扉の位置（各部の隙間と段差）の目安



#### 注意

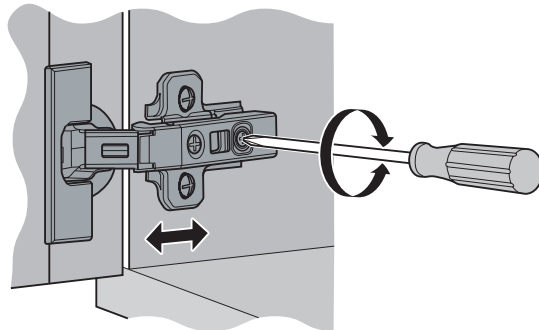
- 調節は、必ず手回しのプラスドライバーで行ってください。電動ドライバー等は、ねじ山破損等の原因となりますので、使用しないでください。

#### 上下調整



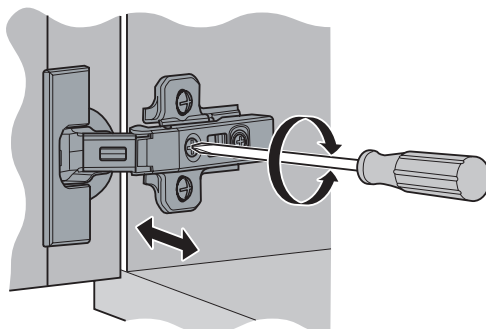
- 座金の2本の固定ねじを緩めてヒンジを上下させます。
- 調整後、固定ねじを締め戻します。

#### 前後調整



- 固定ねじを緩めてヒンジを前後させます。
- 調整後、固定ねじを締め戻します。

#### 左右調整



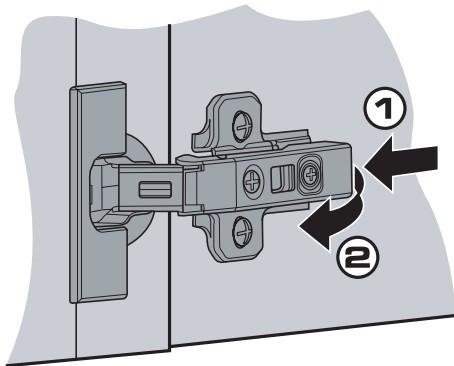
- 調節ねじを時計方向に回すと、扉が内側へ動きます。
- 調節ねじを反時計方向に回すと、扉が外側へ動きます。

<図は正面から向かって左側の扉>

## 8 ガラス扉の外し方、取り付け方

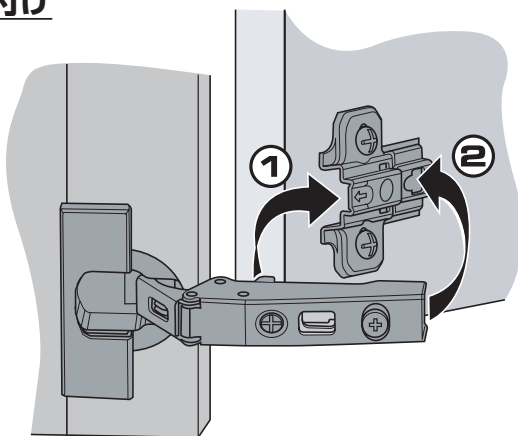
本機に使用している丁番は、ワンタッチでガラス扉の着脱が可能です。  
下図を参照して着脱してください。

### 取り外し



- ヒンジアームの後部の掛金を軽く引き上げると外れます。  
取り外す際は必ず片手で扉をささえてください。扉が落下して破損やけがの原因となることがあります。

### 取り付け



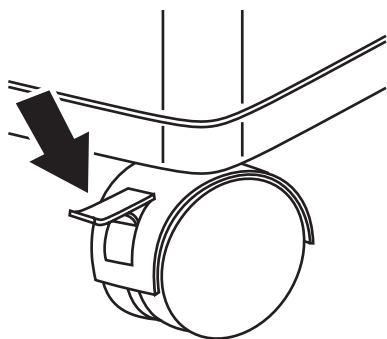
- ヒンジを座金の前に滑り込ませ、次にヒンジアームの後を『カチッ』と音がするまで指で押します。

<図は正面から向かって左側の扉>

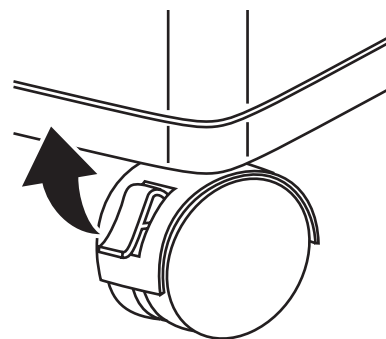
## 9 キャスターの車輪をロックする

本機の前側両端のキャスターにはストッパー機構が付いています。レバーを下げると車輪はロックされ、上げると解除されます。

### 車輪をロックする



### ロックを解除する



### 注意

- 移動の際は必ず車輪のロックを解除してください。床に傷がついたり、キャスターが破損する恐れがあります。

# 積載制限

- ・積載総質量 140kg以下
- ・天板の上 60kg以下
- ・地板の上 20kg以下／1カ所
- ・棚板の上 20kg以下／1カ所
- ・積上げ高さ（天板の上から） 90cm以下

## 注意

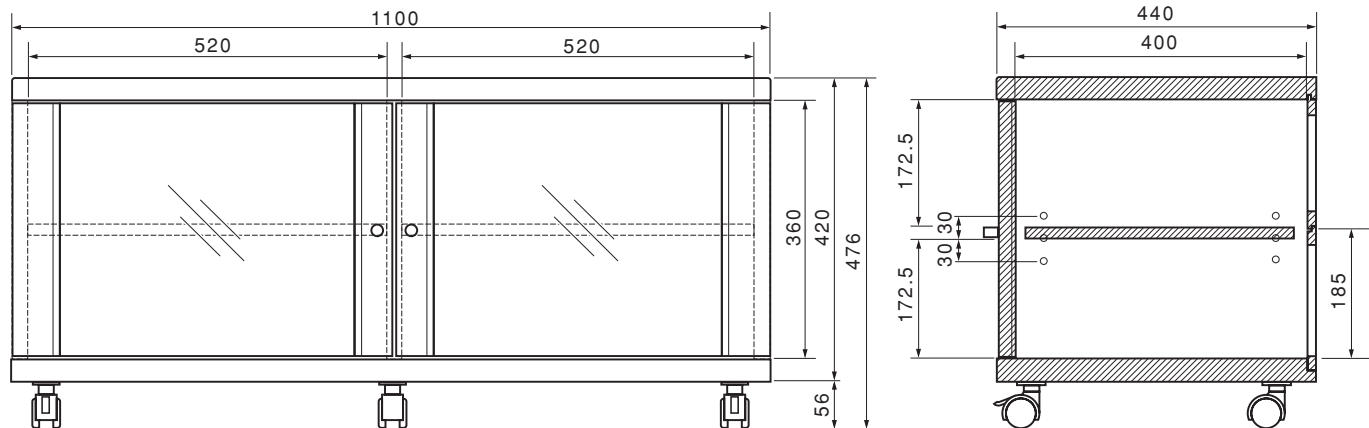
- 左記制限を超えて積載しますと、破損や転倒等の危険があります。  
必ず制限内で使用してください。

# 仕様および寸法図

## 〔仕様〕

- ・天然木突板貼りウレタン塗装仕上（一部 MDF ラッカー塗装仕上）
- ・可変棚 2 枚付
- ・寸法：1100（幅）× 476（高さ）× 440（奥行）mm
- ・質量：39kg

## 〔寸法図〕 単位[mm]



## お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

●家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口

**0070-800-8181-22**

●カタログのご請求窓口

**0070-800-8181-33**

<ご注意> ●PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。  
予めご了承ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>